# 滋賀短期大学 学報

2021.9.1
No.89

**デジタルライフビジネス学科（➡P4）**
**2022年4月開設予定（仮称・設置構想中）**

CONTENTS

[新理事長・学長メッセージ／P2]
[名誉理事長メッセージ／P3]
[学生のPC必携化について／P4]
[学長と学生との懇談会／P5]
[特集1／滋賀短期大学 3センターの学生サポート／P6]
[フレッシュマンセミナー／P7]
[学生自治会の紹介／P8]
[学外実習報告／P9～11]
[特集2／輝く卒業生／P12]
[同窓会だより、後援会会長挨拶／P13]
[私の研究紹介、就職・資格状況 ほか／P14～15]
[主な教育研究・社会活動／P16～P17]
[学内情報／P18～20]

滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4　滋賀短期大学　紀要・図書委員会
電話(077)524-3605
ホームページアドレス　https://www.sumire.ac.jp/tandai/

新理事長・学長メッセージ
Message

# 新しい純美禮学園・滋賀短期大学をめざして

純美禮学園理事長
滋賀短期大学学長　秋山　元秀

この4月から松村文夫理事長（現名誉理事長）のあとを受けて、純美禮学園第6代の理事長に就任いたしました。学園での経験も浅く、短期大学以外の各校園の事情もよくわかっていない私などが務めるにはあまりに重責の職でありますが、みなさまのご期待に添うように精励させていただく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

純美禮学園は平成30年に創立100年、短期大学は昨年創立50周年を迎えて、これからの50年、100年を見据えて新たな出発をこころがけなければならない時ですが、昨今はコロナ禍の中にあって、この難関を乗り切ることが当面の課題であり、それに専念せざるを得ない状況です。しかしコロナ禍が一段落した後、それ以前から日本の教育界全体が抱えていた問題に取り組まなければいけないと思っています。

これは教育だけの問題ではなく、労働や福祉なども含め、社会全体の大きな問題ですが、人口動態の変化、とくに若年人口の減少と高齢化が社会の活力を失わせていきつつあります。しかしそんな時代だからこそ、子供たちや若者たちが、自分たちの未来に希望をもち、しっかりとした社会人として生きてゆく知恵や人間力をもつように育て導いてゆくのは、教育をおいて他にないはずです。経済や政治の動向に左右されることなく、社会において一人一人が生きる力に支えられた確固たる理念をもつことは、教育を通じてはじめて獲得されるものであると思います。純美禮学園はこの信念に基づいて、これまで多くの卒業生をおくりだしてきましたし、今後もそれを継続していかなければなりません。しかし同時に急速な社会の変化は教育に対しても容赦のない課題を突き付けています。

純美禮学園は保育園、幼稚園から高等学校、短期大学まで、複数の校種をもっていますが、新設の保育園を除いてそれぞれ固有の歴史に支えられながらも、これからどのように維持発展させていくかについて問題を抱えています。短期大学に限っていえば、短期大学という高等教育の在り方自体が曲がり角に来ていることはすでに指摘されていることですが、では短期大学という形の教育が時代遅れかというと決してそうではありません。

短期で資格や免許をとれるだけでなく、2年間という在学の期間にコンパクトに必要な学修を終え、早く実践の世界に出て経験を重ね、さらにその経験をフィードバックして技量を高めることで、在学時代には十分理解できなかった学修内容が本当に身につくようになることがあります。短期大学はこのような卒業後の学修研修までを視野に入れたシステムをつくる必要があるのではないでしょうか。さらにそこに入学前の学修までをも含めると、後期中等教育と高等教育を連携させることで、一貫教育による実践に強い人材育成ができるのではないかと思っています。本学園は附属高校をもっていることで、このようなシステムを構築できる環境に恵まれています。

微力ではありますが、みなさまのご支援ご協力を得て純美禮学園をこれから50年、100年先に地域における中核的な教育機関として発展させていくために、様々な試みを行っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

名誉理事長メッセージ
Message

# 理事長退任にあたって

学校法人純美禮学園
前理事長　松村　文夫

長引くコロナ禍の中、多くの新入生を迎えた令和3年度も、無事に前期を終えようとしている頃だと存じます。本学では細心の感染対策のもと、充実した学園生活を送られていることと喜んでおります。

さて、私は本年3月31日付をもちまして、学校法人純美禮学園理事長を退任させていただきました。昭和45年（1970年）4月、本短期大学開学と同時に純美禮学園に奉職し、今日までの51年と云う長きにわたりお世話になりました。その間、附属高等学校を始め短期大学の事務局、法人本部事務局を経て、平成16年から退任までの17年間は、学園理事長として学園運営に携わってまいりました。特に平成20年には、学園総合改革の一環として共学へと改革し、現在の体制の基礎作りに努めてまいりました。

在職中は、多くの先人の皆様や学園関係者はじめ教職員や学生、卒業生の皆様には一方ならぬお世話になり誠に有り難うございました。こうして大過なく過ごさせていただきましたのは、偏に皆様方のご支援ご指導の賜物とこの紙面をお借りして衷心より御礼申し上げます。

本学の歴史を顧みますと、開学当初、服飾学科（現・生活学科）26名、幼児教育学科（現・幼児教育保育学科）48名の入学生を迎え、地域の大きな期待を受けて誕生し、昭和62年には新たに秘書科（現・ビジネスコミュニケーション学科）を加え、その後、科名変更や定員の変更など改革を重ねながら発展してまいりました。早いもので昨年（令和2年）開学50周年を迎えました。現在、卒業生は1万5,500名を数え、県内はもとより全国各地で専門性を生かしながら社会貢献されていることは、この上ない喜びであります。

御承知のとおり高等教育を取り巻く環境の変化は年々厳しく、今、これからの短期大学の在り様が問われています。本学においては、内には高大連携の充実、外には地域連携を一層深めるとともに、専門職業人材や地域コミュニティの基礎となる人材育成の充実を図らなければなりません。

昨年より学園では、「令和の改革」と位置付け、短期大学では、新たな学科を検討するとともに幼児教育保育学科の定員を見直す等、また、附属高等学校においては、創設の基礎理念を体現してきた生活デザイン科（家庭に関する専門学科）を廃止し、普通科だけの高校として生まれ変わろうとしています。いずれも令和4年度入学生からの実施で、先の共学化に次ぐ大きな改革であり、本学園の将来を大いに期待するものであります。

私の退任後は、幸い現学長秋山元秀先生が理事長・学長としてご就任いただくことになりました。先生は教育者、研究者としてまた、学校運営にも豊かな経験をお持ちであります。先生の益々のご活躍と本学園の更なる発展を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

# 学生のPC必携化について

副学長　小山内　幸治

本学では、今年度の新入生から全学科の学生を対象にパーソナルコンピュータを必携化しました。

昨年の前期の授業は、新型コロナ禍により、遠隔授業で行うことになりました。遠隔授業実施のために、学生の家庭におけるコンピュータの所持状況を確認する必要があったため、調査を行ったところ、自分専用のコンピュータを所持していない学生が少なからずいることが明らかになりました。このことから、遠隔授業はパーソナルコンピュータの利用を前提とせず、スマートフォンでも対応可能な形式で行われました。しかし、一部の授業ではスマートフォンでは教育効果が十分発揮できない場合があることや、新型コロナ禍の影響が継続中であることも考慮し、2021年度の新入生に対するパーソナルコンピュータの必携化が検討されました。授業や遠隔教育で使用できるスペックを備えたパーソナルコンピュータの仕様を決定し、コンピュータメーカーと交渉したところ、学生に購入可能な特別価格で提供を受けることができることになりました。また、リモートワークや遠隔学習が急速に広がり、新しい働き方、新しい学び方が提唱され、大学として、これらに対応した教育が提供できるような体制と環境づくりを急ぐ必要があることから必携化を決定しました。

昨年度の遠隔授業の経験から、教員のパーソナルコンピュータの利用スキルも向上し、Google ClassroomやMeetなどの学習支援ツールはほとんどの教員が使いこなせるようになりました。必携化したパーソナルコンピュータは、各学科で有効に活用されています。同時に、学生のコンピュータ利用を支援するために、PCサポーターをラーニングサポートセンターに配置しました。月曜日から金曜日まで毎日、コンピュータに関する設定、利用方法、授業課題の相談などが気軽にできる体制を整えました。毎月多くの学生が訪れています。また、学生のコンピュータ活用の利便性を図るために、全学Wifi化を行い、大学全体で、無料のWifiを活用できるようになりました。これらの整備により、学生ホールや食堂では、学生が休憩時間に自分のパーソナルコンピュータを用いて課題に取り組んでいる姿を見ることも多くなりました。

デジタル社会の到来を迎え、生活にもデジタルテクノロジーが浸透するとともに、ビジネス現場においては、新しい時代の企業間競争を勝ち抜くためにDXによる組織改編、ビジネスモデルの変革の必要性が叫ばれています。

さらに、内閣府はsociety5.0で、仮想空間と現実空間を連携し、すべての物や情報、人を一つにつなぐとともにAI等の活用により量と質の全体最適をはかる社会を提唱しています。このような中で、コンピュータを使いこなし、生活や仕事を豊かにしていくためのスキルの重要性がますます増しています。

今回のパーソナルコンピュータの必携化を契機に、新しい時代に対応できるコンピュータリテラシーとコンピュータスキルを持った人材の育成を目標として本学のコンピュータ教育を進めていく必要があると考えています。

## 滋賀短に新学科を構想中
### ーデジタルライフビジネス学科ー

現在、滋賀短はSociety5.0といわれる新しい時代に適応する学科を構想しています。今本学には3つの学科がありますが、この中の生活学科とビジネスコミュニケーション学科の特性とこれまでの蓄積を生かして、両学科が連携して「デジタルライフビジネス学科」を、令和4年の4月から立ち上げるべく準備を進めています。ぜひご期待ください。

# 学長と学生との懇談会

学長　秋山　元秀

5月から6月にかけて3学科の学生と自治会、留学生のグループと懇談会を行いました。昨年はコロナ禍の関係でできなかったのですが、今年は感染予防を行いながら実施しました。学科からの学生は、1回生と2回生あわせて10名くらいを選んでいただきました。それぞれ活発な意見がでて有意義な場となりました。

大学側からは、秋山学長、笹倉学長補佐のほかに、太田学務課長、梅村相談室長が随時出席、留学生との懇談会には深尾副学長・清水特任助教が出席しました。学務課の市原主事が出席者間の調整や軽食提供の準備、当日の記録などを行いました。

昨年度、4月5月はほとんど大学への登校はできませんでした。6月からは少しずつ対面授業を開始し、秋からは全面的に対面授業を再開して今に至るわけですが、これには通学の電車の中での感染が心配だったという意見もありました。しかし他大学が全面的にオンライン授業を行っている中で、本学のように対面授業を増やしていったことを評価してくれる声も多数ありました。オンライン授業では友達との交流がないし、やはりキャンパスに来て友達と話したり、サークル活動を行ったりするのが楽しいという意見を聞いて、学長としては大学の方針が理解されていると意を強くした次第です。

しかしコロナ禍だけではなくいろいろな不安を感じていることもあるようで、2回生の場合は就職について心配しているという声が多くありました。とくに留学生は卒業後日本に残って働きたいけれど、就職先があるかどうかわからないという声は深刻でした。留学生の場合は卒業後の在留資格の獲得ということが大きな問題で、これについては深尾副学長から説明がありました。

施設整備や学修環境については、学生が昼休みや空いた時間に友達とをくつろいで話をしたり、休んだりする場所が少ないという意見がかなりありました。各地の大学の改修をする場合、いわゆるアメニティ空間の確保ということが重要な課題になっているのですが、本学の場合、施設の老朽化とともに早急に検討する必要のある課題です。

授業についても様々な意見が出ました。教員の気づかないようなことでも、学生の側からみると気になるようなこともあるようでした。1回生は今年からパソコンを必携にしていますが、有効に使われている授業もあれば、あまり使われていない実態もあるようでした。

このほかにもいろいろな意見が出ていますが、今後の大学運営に生かしていきたいと思います。

［特集1］
Feature
1

# 滋賀短期大学 3センターの学生サポート

## ー入学から卒業後までー

## キャンパスライフ・サポートセンターって何をするところ?

キャンパスライフ・サポートセンターは、学生生活の全般にわたって支援するセンターです。たとえば学生の奨学金、クラブ・サークル活動、心身の不調や健康管理などについて支援しています。いわゆる学生生活に関するよろず相談窓口のようなところです。センターには、学生支援コーディネーターが配置され、学生カウンセリングの予約も行っています。何か気になることがあれば気軽に相談できます。

キャンパスライフ・サポートセンターは、正面玄関を入ってすぐ左側にあります。この度、案内掲示板が新しくなりました。私たちスタッフも気もちを新たにしています。困ったときにはキャンパスライフ・サポートセンターを活用しましょう。

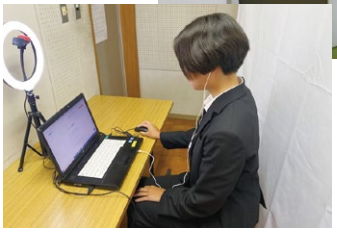
## ラーニング・サポートセンターを利用しよう!

ラーニング・サポートセンターは、「ゆっくりじっくり学べる場」「未来の基盤を固めよう」をスローガンに、全学における学修一般をサポートするセンターとして発足しました。センター長の他、専任教員を一名配し、更に各学科から一名ずつの教員の協力を得て運営されています。今年度からPC専門のサポーターも加わり、「いつでも質問できる人がいる」体制を整えました。

具体的な支援内容は、基礎学力テストの結果に基づいた補習、授業内容やレポートに関する支援、公務員試験など就職試験対策や履歴書作成の補助、面接対策、資格試験対策などです。留学生の日本語試験対策なども行っています。自習に来る学生も多いです。また、今年度からPC専門サポーターも配置しており、例年よりも多くの学生が来室し勉強しています。

授業のことや就職試験、そしてPCに関して困ったことがあれば何でもご相談ください。

## 未来につなぐ　キャリア・サポートセンター



キャリア・サポートセンターは、就職支援をするセンターです。
短大での学びの最終的な到達点ともいえる就職、その活動をサポートしています。就職支援講座や就職情報提供だけでなく、就職相談や面接練習や履歴書指導など個別対応を行っています。在学期間を通して、多岐にわたる資格取得講座を開講し、資格取得を奨励しています。また、パソコンやカメラを整備した部屋もあり、学内でオンライン面接を受けることもできます。

その他、現在はコロナ感染症で少ないのですが地域におけるボランティア活動や授業以外でのインターンシップなどの情報も提供しています。

卒業生に対しても卒業後3年をめどに再就職の情報も提供しています。2年しかない短大生活ですが、私たちは入学時から卒業後まで皆さんをサポートしていきます。気軽に立ち寄ってみてください。

# 令和3年度のフレッシュマンセミナー

## ビジネスコミュニケーション学科

キャリア支援委員　若生　眞理子

### 「ビンゴゲーム」でコミュニケーション

入学から約2週間が過ぎた4月21日、感染予防対策をとりながら新入生同士の交流を目的とした「フレッシュマンセミナー」を開催しました。最初に小山内副学長による建学の精神「心技一如」についての説明があり、その後クラス対抗の「ビンゴゲーム」を行いました。同じクラスの仲間と相談をしながら、ビンゴ用紙のマス目にオフィスにある備品や事務用品を記入していきます。その後読み上げられる文章に自分たちが書いたことばが出てくると〇をつけ、わくわくしながらゲームを楽しみました。どのクラスも賞品の獲得を目指して大いに盛り上った時間でした。これからの2年間を共に過ごす大切な仲間と親交を深めるよい機会となりました。

## 生活学科

キャリア支援委員　原　知子

### 恒例の「パピエアラモード」

4月21日、学科ごとのフレッシュマンセミナーを体育館にて実施しました。挨拶・心技一如の精神についての説明（中平学科長）、「就職活動はいつから？　今から」というお話（原）、キャリア支援センターのメンバー紹介・就職に関するお話の後、クラスメンバーとの親睦や目標に向かって協力し合って作業する、というねらいで、新聞紙を使ってモデルにファッショナブルな装いを創作する「パピエアラモード」を実施し、最後は作品でファッションショーを行いました。マスクにフェイスシールドをつけての作業ではありましたが、意見をまとめて一つの作品を作り上げていく、ということを通じて楽しく互いを知るきっかけになったのではないかと思います。写真のように、見事な作品に仕上がっていきました。実施後のアンケートも好評でした。

## 幼児教育保育学科

キャリア支援委員　三上　佳子

### 保育者になるためのはじめの一歩

幼児教育保育学科新入生を対象にしたフレッシュマンセミナーは、例年とは異なり４月21日に体育館で実施されました。学科長の挨拶、副学長による建学の精神「心技一如」の説明や、キャリアサポートセンターから就職活動についての話もありました。中心となる内容は、学生と教職員の相互親睦を図ることを目的とした、アドバイザー単位の組による手遊びの披露です。サポートの２回生が振付けを工夫してくれたり手作りのペープサート等の準備をしてくれたりしたことで、新入生も楽しみながら参加できたと思います。感染症対策で思うような活動ができない状況でしたが、新入生同士、また教職員及び在学生とのつながりも深め楽しい交流の場となりました。始まったばかりの大学生活への安心感や交友関係の広がり、何よりも相互理解を深める良い機会となりました。

# 学生自治会の紹介

学生自治会　会長　　村田　弥侑

私たち学生自治会執行部は、二年間の学生生活がより良いものとなるよう、様々な活動を行っています。

大きな活動は5月の学生総会、6月の体育大会、11月の純美禮祭（学園祭）、3月の卒業記念パーティーの企画・運営です。また、学内交流や滋賀県内のボランティアにも参加しています。

（今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、残念ながら学生総会は書面にて開催し、体育大会は中止となりました。）また、毎週月曜日の昼休みに自治会役員で様々な議題をあげ、日々学生また学校がよりよくなるように会議を行っております。

自治会は学生の代表として、学内だけでなく外部の方々とも打ち合わせをします。

「一つの行事を成功させるためにはこんなにたくさんの準備が必要なのか」と驚くこともあります。しかし、2年間で学んだ責任感や社会性は、その後の人生においても必ず役に立つものだと信じ、どんなことでも自治会役員全員で取り組んでいます。

私たちと一緒に滋賀短期大学を盛り上げてくれる人を募集します。新しい仲間を自治会役員一同お待ちしています！！

## 純美禮祭について　「Next Stage ～新しい時代へ～」

今年度の純美禮祭は11月6日土曜日に開催予定ですが、どのような方法で開催するか、実行委員一同検討中です。

しかし、その中でも皆様に楽しんでいただけるように自治会執行部及び純美禮祭実行委員一同純美禮祭開催に向けて、尽力してまいります。様々なイベントを今年も考えているので、楽しみにしてくださると幸いです。

加えて、純美禮祭では実行委員を募集いたしますので、自治会には入りづらいけど純美禮祭実行委員ならやれそうや、純美禮祭の運営に携わってみたい方などぜひ参加のほどよろしくお願いいたします。お友達を誘ってきていただいてもかまいません。大歓迎です。自治会執行部また、純美禮祭実行委員一同お待ちしております。

# 生活学科　学外実習報告

## ■ インターンシップを終えて

生活学科　製菓・製パンコース　（2回生）　小西　栞菜

私は長浜で大人気の洋菓子店「Orange　plus」オランジュプリュスさんでインターンシップをさせていただきました。新型コロナウイルスが流行している大変な時期にも関わらず、快く受け入れてくださったお店の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。インターンシップでは、ケーキの仕上げやクッキーの型抜き、焼き菓子の包装など、実習では習わない作業も沢山経験させていただきました。シェフやスタッフの方々が気さくに優しく、不慣れな私に丁寧にご指導くださったおかげで、緊張がほぐれて働くことができました。商品一つ一つがとても丁寧に、細部にこだわって作られているのですが、皆さん手早く綺麗に作業をされ、仕事の取り組み方やスイーツに対する愛情を感じました。私も一つ一つ丁寧に作業をしながらでも、早く綺麗に正確にできるようになりたいと思いました。インターンシップで学んだこと、経験したことを就職先にも活かしていきたいと思います。

### 栄養士学外実習

栄養士の臨地実習は例年夏休み期間に実施します。
2021年度は、学生33名が8月16日から9月17日の間に、
老人施設：4カ所、社員食堂：2カ所、給食センター：1カ所、保育所：20カ所にてお世話になります。（予定）

## ■ 教育実習を終えて

生活学科 食健康コース　（2回生）　脇田　奈津貴

6月7日から11日までの5日間、小学校で栄養教諭の教育実習に行ってきました。

私は教育実習の中で1番印象に残っていることは研究授業です。5年生のクラスにて「発酵食品」についての授業をしました。授業は、大豆から様々な食品が出来ることを確認し、その中から納豆、味噌、醤油について取り上げ、発酵の作り方や身近な食品にも発酵食品は様々あることについて実施しました。

授業では、褒め方や声のかけ方などたくさんの課題を見つけ、緊張して言葉に詰まる等、悔しい思いをしたところもありました。それでも子ども達が真剣に話に耳を傾け、たくさん発言してくれたからこそ授業として成立したのだと思います。その後、当日の給食に『厚揚げと鶏肉のうま煮』が提供されました。子ども達は「厚揚げって、発酵食品やったっけ？」「ちゃうで、大豆からできた食べ物やで」と、授業の内容と給食で提供された食品との繋がりが話題になりました。授業の内容が授業内だけに留まらずに子ども達の力によって発展していったことがとても嬉しかったです。教育実習で学んだことを生かし、これからの勉学にも励みたいと思います。

# 幼児教育保育学科　学外実習報告

## ■ 前期教育実習を終えて

幼児教育保育学科　（2回生）　山口　栄

今回、初めての教育実習で、滋賀短期大学附属幼稚園で実習させていただき、3歳児クラスに入らせていただきました。

前期の実習期間は10日間でしたが、子どもたちは大きく成長し続けることを改めて学びました。感動したことは、制服の着脱や荷物の片付けなど自分でできる力が日を重ねるごとに伸びていくことです。また、子どもたち同士の人間関係にも変化がみられ、「ありがとう」「ごめんね」を言える子が増えていたことです。

それは、先生方が常日頃から子どもたち一人ひとりの性格に合わせた言葉がけを行い、気持ちに寄り添っておられたからだと思います。一人ひとりに合わせた言葉がけの重要性を学びました。

実習簿など、大変なことはありましたが、子どもたちの優しい言葉に救われ、がんばろうという気持ちになりました。

附属幼稚園の先生方、そして子どもたち、貴重な10日間本当にありがとうございました。

## ■ 施設実習を終えて気がついたこと

幼児教育保育学科　（2回生）　南　佳孝

私はこの度、障害児入所施設で実習をさせて頂きました。

実習では、利用者の方々と信頼関係を築く大切さを学びました。その為に、すすんで挨拶をする、和やかで受容的な態度を保つ、私を知って頂けるように自己開示をする事を心がけました。

障害をもつ方が、一人で暮らせる地域共生社会の創造が目指されています。養成校を卒業する私たち一人ひとりが、その未来を実現する担い手として、社会に貢献できる存在の豊かさを持つことに気がつくこともできました。

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中で、多くの実習生を受け入れていただいた施設の方々に、深く感謝を申し上げます。

実習先でも利用者の人たちと音楽を楽しみました。

# ビジネスコミュニケーション学科 学外実習報告

## ■ 令和2年度インターンシップとボランティアの取組み

ビジネスコミュニケーション学科　教授　江見　和明

### インターンシップ

企業で働くということをイメージするために、企業や組織で働いている方々の姿を直接見ること、実際の仕事を体験させていただくことは学生にとってとても貴重な経験になる。令和2年度は、コロナ禍ということもあり、残念ながら実地で就業体験させていただくことができなかった。事後報告会に出席した14名の受講者全員がオンラインによるインターンシップの参加だった。学生の多くは自分たちで情報収集を行い、お世話になる先を決めた。参加の内訳は、ホテル・ブライダル5名、テレビ番組の企画・制作会社3名、金融2名、自動車販売1名、新聞販売1名、福祉1名、製造1名だった。マスコミ関係など、例年には見られない会社に参加した学生も見られ、ユニークな報告会になった。近年では、インターンシップの後、内定をいただくというケースも見られる。今後もインターンシップに力を入れていきたいと考えている。

### ボランティアとまちづくり

ビジネスコミュニケーション学科では、大津市市民活動センターが実施したチャリティイベント、「SDGs体験イベント！秋ほくほく」（令和2年11月）と「SDGsチャリティコンサート　スーホーの白い馬　故郷の音色」（令和2年12月）において、学生が、ボランティアスタッフとして参加した。イベントのテーマはSDGs（持続可能な開発目標）で、子供たちにSDGsについて知ってもらうという役割をいただいた。学生は、SDGsのことを調べ、クイズ形式にして子供たちに楽しんで学んでもらえるように工夫した。

地域貢献演習では、平野学区まちづくり協議会が実施した「ひらのまちづくりフォーラム」（令和3年1月）へ参加し、学生が、色のバリアフリー・食品ロス問題・地域の防災などまちづくりの提案を行った。今年度は、コロナ禍ということで、当初計画されていた対面での報告はできなかったが、動画を作成し、Youtubeを通じて地域の方々に視聴いただいた。これからも積極的に地域の方々と交流させていただき、たくさんのことを学ばせていただきたいと考えている。

［特集2］
Feature
2

# 輝く卒業生

## ビジネスコミュニケーション学科

ビジネスコミュニケーション学科　2018年3月卒業生　京セラ株式会社　村木　美帆

### 何事にも全力で挑戦してください

京セラ株式会社で4年目を迎えました。大手企業ということもあり受ける勇気がなかった私に、ソフトテニス部の顧問の先生や学科の先生方が後押ししてくださり、怖がらず受けることが出来ました。在学中は勉強はもちろん、特に熱心に部活動に取り組んでいました。先生方に何度も面接試験の練習に付き合っていただいたおかげで、本番では学生時代に取り組んだ部活動のことを自信を持ってアピールすることができました。滋賀短で支えてくださった方々に恩返し出来るよう、また成長した姿を見せられるよう、秘書として毎日頑張っています。先生方にサポートいただいたので、今の自分があると思っています。何事にも挑戦して、学生時代しか出来ないことに全力で取り組んで毎日を楽しんでください。

## 生活学科

生活学科　2020年3月卒業生　社会福祉法人鶴翼会 ひむれ乳幼児保育所　谷口　唯

### 栄養士を目指す皆さんへ

私は、人に料理を作ることが好きで、また、子どもと関わる仕事に就きたいという思いがあり、保育園での栄養士を目指すようになりました。

今は子ども達に安全で美味しい食事が提供できるよう、衛生管理に気をつけながら献立作成や調理を行っています。保育園では、アレルギー対応や離乳食などがあり大変なことも多いですが、園児達に「今日の給食おいしかったよ」と言ってもらえた時には仕事のやりがいを感じます。

実際に調理をする中で、滋賀短で大量調理をした経験は今の仕事にとても活かされています。特に検品の仕方や発注の仕方を学べたことは大きかったです。授業の他にも、就職について迷っていた時には先生方が親身に相談に乗ってくださり、焦らず自分の将来について考えることができました。

短大での2年間はあっという間なので、しっかりと楽しみつつ、後悔のないよう過ごしてほしいです。

製菓・製パンコース（現在のコース名）の卒業生もパレット、アンデケン、クラブハリエをはじめ、多くの菓子店やカフェなどの製造・販売の仕事で活躍しています。

## 幼児教育保育学科

幼児教育保育学科　2013年3月卒業生　守山市　田口　友佳

### 得意を見つけて、自分らしく、楽しく！

私は、守山市の幼稚園教諭として楽しく保育をしています。公務員受験の際は、得意分野で得点が取れるようにポイントを絞って勉強をしました。私はピアノや絵が好きなのですが、保育者となった今も、得意分野を活かした保育に取り組んでいます。得意なことがあると自信につながります。得意分野を活かし自分自身が楽しみながら、チームの一員として役割を果たそうとする姿勢が保育者として大切だと思います。

公務員９年目を迎えました。忙しい中でも、先生方と保育について語り合う時間を大切にしています。短大生活よりも、就職してからの方が忙しいのが実際です。責任や仕事量に大変さを感じることもありますが、学びの機会を頂きながら自分を高めていけることに喜びを感じています。ご縁があれば、保育者としてお互いに高めあっていきましょう！

# 同窓会だより

同窓会運営委員　松田　美枝

同窓生の皆さま、教職員の皆さまにおかれましては、日々感染症対策に留意されつつ、お元気でご活躍のことと存じます。

平素は同窓会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度の総会については、滋賀短期大学のホームページ上ですでにお知らせしてありますとおり、昨年同様、役員のみで開催いたします。2年連続でこのような形での開催となり、大変残念に思いますが、来年9月には「同窓会設立50周年記念講演・祝賀会」を琵琶湖ホテルにて開催する予定です。詳細については令和4年6月に案内を送付いたします。現在、役員一同この式典に向けて、パンフレットの作成などの準備に取り組んでおります。1年先のことではありますが、是非、楽しみにお待ちいただければと思います。

コロナ禍で、同窓会も十分な活動ができませんが、コロナ収束後は今までとは違った活動もできればと思っております。同窓会活動を活性化できるような案などございましたら、滋賀短期大学キャリア支援課までご一報ください。同窓会会員の皆さまとともに、同窓会の発展、そして母校の支援に取り組んでまいりたいと思っております。今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**【新入会員のお知らせ】**

● **令和3年度新入会員（令和3年3月卒業生）**

生活学科 ……50名
幼児教育保育学科 ……93名
ビジネスコミュニケーション学科 …… 102名
合計　245名

**【年次評議員】**

● **年次評議員**

生活学科：鳥居さつきさん、奥田ひかりさん
幼児教育保育学科：吉田亜利紗さん、三上結莉香さん
ビジネスコミュニケーション学科：備瀬桃香さん、藤林桜生さん

**【評議員】** 吉田亜利紗さん

# 後援会会長あいさつ

後援会会長　松井　朋子

後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、後援会活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび後援会会長を仰せつかりました松井朋子でございます。微力ではございますが、皆様のご協力とご支援をいただきながら、学生の皆さんが、充実した学生生活を過ごせるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

滋賀短期大学では、「心技一如」の建学の精神により築きあげてきた実学教育の伝統を踏まえ、多様な価値観のもと複雑化する現代社会に適切に対応する専門的能力をもった人材を育成することを目指し、教職員の皆様には日々ご尽力いただいております。

後援会は、事務所を滋賀短期大学事務局に置き、滋賀短期大学の充実、発展に協力することを目的とし、後援会会則第5条に掲げられている会員（正会員・賛助会員・会友）で組織されています。後援会の活動としては、学生の福利厚生、就職活動支援等に対する援助、課外教育やクラブ・同好会への活動支援を積極的に進めております。毎年6月に総会を開催し、前年度の事業報告、決算報告とともに新年度の事業計画、予算等の承認をいただいております。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、教育の現場でも感染対策をはじめとする危機管理、遠隔授業への対応など大学生活の様式が一転しました。後援会活動も縮小することになりましたが、令和3年度は大学とも相談し、様子を見ながら活動してまいりたいと存じます。

私たち後援会では、この大学生活という大切な時期を少しでも有意義に過ごせるよう、学生の皆様のために力を尽くしてゆく所存でございますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## ■私の研究紹介■

# 「科研費に採択されました！」

幼児教育保育学科　教授　北尾　岳夫

大学教員として誠に恥ずかしい限りですが、初めて科研費を申請し、本年度より3カ年の計画で科研費をいただくことができました。私が研究代表者となり、学科の深尾先生、柚木先生、三上先生、そして奈良教育大学の竹内晋平先生にも共同研究者としてご協力いただきながらの研究活動となります。

研究課題名は、「幼児期における感性の育みを促す<身体・造形・音楽>の融合的表現に関する基礎的研究」です。この研究では、幼児の感性を育むとともに、対象・事象の認識や思考力の育成につながる表現活動において、身体はどのような役割を果たしているのかという問いにアプローチしようとしています。発育・発達が著しい幼少期の保育活動において、そこには身体というものの存在が確かにあり、子どもの様々な表現活動の基盤として、その身体による運動（動き）の存在を無視できないのではないか、というのがこの研究の着想点です。深尾先生には造形表現と身体との関係、柚木先生には音楽表現と身体との関係、三上先生には日常の保育活動にみられる身体性について探っていただきつつ、私自身は研究代表者として全体の研究活動を統括するとともに、幼少期の子どもたちの身体性について探っていきたいと考えています。竹内先生からは研究計画全体についてのご示唆も受けながら、事務的な部分や研究成果の社会への公表といった部分でお力添えをいただく予定です。

学科長を拝命し2年目を迎えていますが、学科単位での積極的な科研費申請や外部からの研究資金獲得の必要性が強く打ち出される中、幸いにも学科の先生方にもご協力いただく形で申請が通過しました。まずは、そのことに安堵しています。また申請の通過に至るまでには、竹内先生（実は大学時代の漕艇部の後輩）の多大なるお力添えがあり、感謝の念に堪えないところです。

すでに研究計画の1年目がスタートしているわけですが、現在、月一回の遠隔ミーティングを行い、全員で意見交換をしながら計画を進めております。最終的には、何らかのコンテンツを制作し研究成果として発表する形で社会に還元できればと考えております。その発表の場としてホームページを立ち上げるとともに、幼児教育保育学科所属の教員が関わる研究活動でもあるので、コロナ禍で活動を休止せざるを得なくなっている乳幼児総合研究所も上手く活用しながら研究を進めていく方法はないかと模索しています。今年度は、造形表現と身体の関係性を探るべく、附属すみれ保育園のご協力も得ながら保育実践と研究活動を展開する予定です。

今後は、研究倫理審査や紀要への投稿など、多くの先生方のお力をお借りしなければなりません。保育現場におられる先生方や学生たちにも還元できる形で、この研究の成果を発表していくことができればと考えております。50代半ばを迎えてやっと研究者として漕ぎ出したという感がありますが、意味のあるものにしていきたいと心から願っています。

# 就　職　状　況

## 令和3年3月卒業生の就職状況について

キャリア支援課　課長　吉田　英史

令和3年3月卒業生の就職状況は、生活学科就職希望者40名に対し内定者は39名（内定率97.5%）、幼児教育保育学科就職希望者86名に対し内定者は86名（内定率100%）、ビジネスコミュニケーション学科就職希望者87名に対し内定者81名（内定率93.1%）、全体で就職希望者213名に対し内定者は206名（内定率96.7%）でした。また、4年生大学への編入進学者は7名、専門学校への進学は1名でした。正規公務員内定者は、幼児教育保育学科で5名、ビジネスコミュニケーション学科で1名でした。会計年度職員は、9名（生活学科3名、幼児教育保育学科5名、ビジネスコミュニケーション学科1名）でした。

コロナ禍で大きく就職活動の制限を受け、学生だけでなく企業側も戸惑うことが多い年度でありましたが、滋賀短生は最後まで就職活動を続け、頑張ってくれました。今後も学生が満足のいく就職活動ができるようにキャリア教育に努めたいと思います。

## 令和2年度　免許・資格取得状況

**生活学科**

- フードスペシャリスト …… 14名
- 製菓衛生師受験資格 …… 12名
- 栄養士免許 …… 30名
- 栄養教諭二種免許 …… 7名

**幼児教育保育学科**

- 幼稚園教諭二種免許 …… 93名
- 保育士 …… 91名
- 准学校心理士 …… 15名

**ビジネスコミュニケーション学科**

- 上級秘書士 …… 16名
- 上級情報処理士 …… 7名
- 上級秘書士（メディカル秘書） 40名
- 日本医師会認定医療秘書合格 35名
- 上級ビジネス実務士 …… 13名
- 秘書士 …… 56名
- 情報処理士 …… 64名
- ビジネス実務士 …… 5名
- ウェブデザイン実務士 …… 7名
- 医療秘書実務士 …… 35名
- 医事実務士 …… 8名
- レクリエーション・インストラクター …… 3名

# 現在の就職活動（保護者世代との違い）

## 現在の就職活動は…

経済の情勢、インターネットの普及、学生の気質など保護者世代と現在とでは、就活プロセスなど様々な状況が異なってきています。

| 保護者世代では | 現在の就職活動は… |
|---|---|
| **〈情報収集源の違い〉** | |
| 大学の就職課に貼り出された求人票や企業パンフレット、就職情報誌からの資料請求を行い、企業にコンタクトを取りました。 | 各種の就職情報サイトや企業の公式HPサイトを通じて情報を得てコンタクトを取ります。毎年本学から、企業・病院・園等へ求人依頼を行い、「滋賀短期大学の学生を採用したい」という求人情報は全て「しがたん就職ナビ」に登録し、ネットより求人情報を得ます。 |
| **〈適性検査・筆記試験・面接〉** | |
| 適性検査や筆記試験は紙への書き込み式試験が一般的でした。面接も当然対面実施でした。 | WEB上で適性検査やテストをする企業が多く、自宅での受験が可能。<br>オンラインで行う「WEB面接」も増えています。 |
| **〈提出書類・面接〉** | |
| 市販、あるいは大学指定の履歴書に詳細を記入し、内容もごく一般的なレベルでした。 | 大学指定の履歴書提出に加えて、企業独自のエントリーシート（ES）も提出します。<br>自己PR・紹介に加え、業界・企業研究を行わないと書けない内容も求められます。 |
| **〈選考開始時期・募集回数〉** | |
| 日本経団連の「就職協定」「新規学卒者の採用・選考に関する倫理憲章」により、選考開始時期はある程度遵守され、募集回数も限られていた。 | 政府主導の「指針」があるものの、早期に選考スタートをする企業も多い。<br>また、内定辞退数を補充すべく2次募集・3次募集とWEB面接で募集回数を分散して行うケースが増えている。 |
| **〈インターンシップ〉** | |
| 参加学生はごく少数で、外資系など特定の企業のみで実施されていた。学生の就業体験をしてもらう目的がありました。 | 就職活動解禁から選考までの期間の短縮化に伴って急速に普及しています。<br>仕事や企業理解を深めるだけでなく、中には就職に直結するものもあり、就職活動の入り口と考えられています。 |

**これらの変化に対応しながら、1回生後期から2回生前期にかけて就職支援講座を学科ごとに開講し、学生の就職活動を全力でバックアップしていきます。**

**また、近年増えているWEB面接については、ピアノ練習室の空き時間等を有効活用し、防音設備・良好なネットワーク環境のもとで学内で実施できるように対応しております。**

# 令和２(2020)年度　主な教育研究・社会活動(2020年4月～2021年3月)

## 研究活動

### 1)著書・DVD

久米　央也　■(共)たのしい学校　春・秋・冬号/大日本図書/4月 9月 1月

笹倉　千佳弘　■(単)「自治的諸活動と生活指導」における「まとめ《総括討論と第70次教研にむけて》」日本教職員組合『日本の教育 第69集』pp.171-172/アドバンテージサーバー/7月
■(共)〈わかちあい〉の共育学【応用編】　子どもと共に未来図を描こう/明石書店,pp.1～156/3月

永久　欣也　■(共)子どもの育ちと「ことば」/教育情報出版,pp.143-146/4月

原　知子　■(単)月刊『保育とカリキュラム』食育等コラム連載/光のくに/2020年4月～2021年3月号
■(共)ごより豆,焼きぎす『別冊うかたま 魚のおかず』/日本調理科学会編農山漁村文化協会,p54・p72/6月

保田　恵莉　■(単)マリア・モンテッソーリ「0歳からの教育の尊さ ー響き合う保育と医療ー」学苑社,pp.1~181/1月

山岡　ひとみ　■(共)こんにゃく『別冊うかたま　いも・豆・海藻のおかず』日本調理科学会編農山漁村文化協会,pp.107/12月

柚木　たまみ　■(共)懐かしい歌 歌おう会 DVD「霜降」「立春」「立夏」「夏至」吹田市音楽療法推進会/12～3月

李　霞　■(単)李霞編著『グローバル人材育成と国際バカロレアーアジア諸国のIB導入実態ー』　国際バカロレア教育研究,第4巻,pp85-87(2020)/日本国際バカロレア教育学会

### 2)学術論文等

秋山　元秀　■(単)月刊『由源』連載「書の風景」/『由源』由源社/2020年4月～2021年3月

笹倉　千佳弘　■(共)里親と受託児の『かかわりあい』のアクチュアリティ ー意味づけされていない養育エピソードの語りをとおしてー/大阪大谷大学紀要,55, 31-49(2021)/2月
■(共)性的虐待を受けた女性サバイバーと非加害親である母との関係 ー母親への思いと子育て観の変化をとおしてー/大阪大谷大学教育学部幼児教育実践研究センター紀要,11,1-19(2021)/3月

中平　真由巳　■(共)「食を伝える」　先人の知恵を次世代のくらしの継承/滋賀の食事文化研究会年報,29,16-22(2020)

深尾　秀一　■(共)領域「表現」における「専門的事項」の教授内容の検討 ー教科書目次及びシラバスのテキストマイニングをもとにー 乳幼児教育・保育者養成研究1(1), 47-65(2020)/11月

保田　恵莉　■(単)危機に対応する子育て支援室での保育士の業務について ーこどもの命と最善の利益を守る意識調査からー/総合人間科学研究学会『別冊総合人間科学』,　2, 11-22(2021)/2月
■(単)乳児の最善の利益を考慮する専門職の視点 ーインクルーシブ保育に着目してー/姫路獨協大学教職課程研究(第31集)1-15(2021)/1月

李　霞　■(単)「特別活動・総合的な学習の時間」の改訂から見る教育改革の構想と課題/京都大学地域連携教育研究,6,pp.51-64(2020)

### 滋賀短期大学紀要(創立50周年記念号　2021年3月発行)

(論文)

秋山　元秀　■(単)中国の地域構造についての一考察 ー歴史地理学的視点から一/滋賀短期大学研究紀要,46,307-316(2021)/3月

伊澤　亮介　■(単)『嗣徳聖製字學解義歌』中の字喃における字形の特徴 ー義符による同音異義語の区別と正字・俗字意識ー/滋賀短期大学紀要,46,121-132(2021)/3月

江見　和明　■(単)介護旅行人材育成に関する考察 ー地域トラベルサポーター養成研修の内容を中心としてー/滋賀短期大学研究紀要,46,155-165(2021)/3月

沖山　圭子　■(単)短期大学における医療秘書養成の課題(1) ー医療事務コース学生の意識からの考察ー/滋賀短期大学紀要,46,167-172(2021)/3月

小山内　幸治　■(共)幼児教育におけるデジタル紙芝居を用いた金融教育の実践/滋賀短期大学研究紀要,46,183-194(2021)/3月

北尾　岳夫、深尾　秀一、柚木　たまみ、三上　佳子
■(共)身体的活動を基盤とした造形・音楽の融合的表現の意義Ⅰ ー幼児期における感性の育みを意図した仮説構築を中心にー/滋賀短期大学研究紀要,46, 55-66(2021)/3月

久米　央也　■(単)領域「環境」における数量・図形の関心,感覚を育てる研究(3) ー数量図形に関する発達特性から教材を開発するー/滋賀短期大学研究紀要,46,45-54(2021)/3月

笹倉　千佳弘　■(共)社会的養護児童と外集団構成員との関係構築過程 ー学習支援ボランティア活動のエピソードをとおしてー/滋賀短期大学研究紀要,46,67-78　(2021)/3月

原　知子　■(共)Optimum Conditions of Size and Volume of Potatoes in a Boiling Process　Based on a Porous Model/滋賀短期大学研究紀要,46,173-182(2021)/3月

林　幸範　■(共)特別支援教育における被虐待児童への対応に関する研究(2) ー養成校学生と養護教諭の虐待に対しての意識の比較ー/滋賀短期大学研究紀要,46,79-90(2021)/3月

深尾　秀一　■(単)幼児教育・領域「表現」における「美しいもの」「美しさ」についての考察 ー現任保育者及び養成校の学生からのアンケート調査を手掛かりに一 /滋賀短期大学研究紀要,46, 91-100(2021)/3月

松井　典子　■(共)保育者養成校における保育内容「表現」のオンライン授業 ーWithコロナでの授業形態および教材の検討ー/滋賀短期大学研究紀要,46,101-110(2021)/3月

三上　佳子　■(単)感じたことや考えたことを自分なりに表現する生成過程における家庭と園との連続性の一考察 ー身近な材料で描いたり,作ったりする造形表現を通してー/滋賀短期大学研究紀要,46,15-26(2021)/3月
■(単)「〇〇プロフェッショナル」を目指す学生が保育者の子どもとの関りを通して保育者として意識するための一考察ー養成校における学生の実践記録や保育者との対話を通してー/滋賀短期大学研究紀要,46,27-38(2021)/3月

山中　博史　■(共)幼児の土踏まずの形成と運動能力についての一考察/滋賀短期大学研究紀要,46,39-44(2021)/3月

柚木　たまみ　■(単)図形譜を用いた音楽表現活動　専門演習Ⅰ・Ⅱにおける学生の実践活動報告からvol.2ー/滋賀短期大学研究紀要,46,111-120(2021)/3月
■(単)音楽表現活動を通して獲得されたものー特別支援学級在籍児童に対する音楽療法実践報告ー/滋賀短期大学研究紀要,46,145-154(2021)/3月

若生　眞理子　■(共)幼児向けマナー教材と実施プログラムの開発 ー社会的スキルに着目してー/滋賀短期大学研究紀要,46,133-144(2021)/3月

(研究ノート)

永久　欣也　■(単)幼児期における道徳教育とは ー小学校との関わりの中でー/滋賀短期大学研究紀要,46,195-202(2021)/3月

浜崎　由紀
松井　典子　■(共)短期大学における子育て支援の取り組み(2) ーSHIGATAN 乳幼児ふれあい・保育体験事業を通してー/滋賀短期大学研究紀要,46,203-212(2021)/3月

松井　典子　■(単)ICTを活用したピアノ実技指導の試み ー保育士・教員養成課程におけるオンデマンド型ピアノ実技授業の方法と教材作成ー/滋賀短期大学研究紀要,46,213-222(2021)/3月

(報告・記録)

石井　明
北川　志信　■(共)材料及び製法による風味や食感の違い ーマイスタートレーニングによる取り組みについてー/滋賀短期大学研究紀要,46,223-234(2021)/3月

岡田　香織
中平　真由巳　■(共)滋賀短期大学附属すみれ保育園における園児と未就園児親子を対象とした食育活動/滋賀短期大学研究紀要,46,265-272(2021)/3月

岸田　みさき、岡田　香織、豊岡　真莉、灰藤　友理子、中平　真由巳
■(共)附属幼稚園児への食育活動紹介/滋賀短期大学研究紀要,46,261-264(2021)/3月

豊岡　真莉、岡田　香織、岸田　みさき、中平　真由巳
■(共)びわ湖こどもの国における食育の取り組みとその効果 ーチャレンジキャンプと親子料理教室についてー/滋賀短期大学研究紀要,46,245-252(2021)/3月

豊岡　真莉　■(単)京都府スポーツセンターにおけるコロナ禍での情報提供の取り組み/滋賀短期大学研究紀要,46,253-260(2021)/3月

中平　真由巳　■(単)モンゴル遊牧民の生活と食文化 ームギ家の夏の暮らしー/滋賀短期大学紀要,46,273-282(2021)/3月

中村　吉弘　■(単)観光・ホテル・ブライダルコースの新設/滋賀短期大学研究紀要,46,283-286(2021)/3月

灰藤　友理子、岡田　香織、豊岡　真莉、中平　真由巳
■(共)食育を担う学生の実践能力の育成 ー体験活動『滋賀短Kids』を通してー/滋賀短期大学研究紀要,46,287-296(2021)/3月

松村　都子　■(単)滋賀短期大学附属すみれ保育園の開園に寄せて ーノンコンタクトタイムの導入によるこれからの保育ー/滋賀短期大学研究紀要,46,235-244(2021)/3月

山岡ひとみ
岡田　香織　■(共)大津サービスエリア下り(近鉄リテーリング)とのメニュー開発 ー生活学科　食健康コース2回生の取り組み(2016～2019年)ー/滋賀短期大学研究紀要,46,297-306(2021)/3月

(エッセイ)

清水　まゆみ　■(単)専門用語の複数表記/滋賀短期大学紀要,46,317-320(2021)/3月

堀池　喜八郎　■(単)ごはんとモチとヨウ素デンプン反応、そしてタッチパネル/滋賀短期大学紀要,46,321-324(2021)/3月

(その他)

秋山　元秀、深尾　秀一、中平　真由巳、北尾　岳夫、沖山　圭子、山中　博史、浅見　義典　■(共)滋賀短期大学の歩み―50年を振り返って/滋賀短期大学紀要,46,325-359(2021)/3月

### 3)演奏会

柚木　たまみ　■(単)レクチャーコンサート「プーランクと戦争」/主催:京都フランス歌曲協会,京都市北文化会館/10月17日

### 4)展覧会

深尾　秀一　■(単)「対自2020」/滋賀県造形集団第45回展/11月

### 5)学会発表

伊澤　亮介　■(単)ベトナム民族文字字喃の畳語と熟語における義符の一致現象について/日本漢字学会第3回研究大会/11月

北尾　岳夫　■(共)『幼児を対象とした多様性理解のための教育ツール』を活用した保育実践に対する保育者養成学生の有効性評価/日本保育者養成教育学会第5回研究大会/3月

笹倉　千佳弘　■(共)里親と受託児の『かかわりあい』のアクチュアリティ ―意味づけされていない養育エピソードの語りを通して―/日本子ども虐待防止学会第26回学術集会ひょうご大会/11月

中平　真由巳　■(共)新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛中の大学生の食生活(ポスター)/第19回栄養改善学会近畿支部学術総会/3月

原　知子　■(単)若年層の野菜摂取における効果的な食育手法のための一考察 日本家政学会第72回大会要旨集p118/5月
■(共)鍋容器中の煮汁の熱対流と温度分布について/日本調理科学会近畿支部　第46回研究発表会/12月

深尾　秀一　■(共)領域「表現」の遠隔授業事例から考える「保育者の実践力」/日本乳幼児教育・保育者養成学会第1回研究大会/12月

深尾　秀一、林　幸範、松木　宏史、浜崎　由紀、松井　典子、荻田　純久　■(共)地域基盤型/指向性保育士養成カリキュラムの検討と実践に関する研究/第39回滋賀県社会福祉学会/1月

保田　恵莉　■(単)コロナ禍のなかで「教育・研究は守り切れるか」/総合人間科学研究学会　研究発表会「リモート資料(報告)」pp.1-3(2021)/2月

若生　眞理子　■(共)キャリア教育・就職支援に秘書技能検定が果たす役割～3級の分類を通して～/日本ビジネス実務学会第57回近畿ブロック研究会/2月

### 6)その他

秋山　元秀　■(単)【論壇】遠隔授業の功罪 ―豊かな触れ合いもつ教育取り戻したい―全私学新聞2516号,7月13日記事

中平　真由巳　■(単)ラオス・山村の暮らし/滋賀の食事文化研究会小史,31-32(2020)

## 社会活動

### 1)委員委嘱

江見　和明　■日本消費経済学会理事/11～3月/日本消費経済学会

沖山　圭子　■全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員
■日本医師会認定医療秘書の養成に係る運営委員/2020年度/滋賀県医師会
■大阪市保健所レセプト点検業務委託業者選定会議委員/12～3月/大阪市
■日本医療福祉実務教育協会の運営に係る専門委員/2020年度/日本医療福祉実務教育協会

笹倉　千佳弘　■川西市人権施策審議委員/2020年度/川西市
■児童等がその生命等に著しく重大な被害を受けた案件に関する第三者委員会委員 2020年度/大阪市教育委員会

中平　真由巳　■湖っ子食育大賞の書類審査/1月13日/滋賀県教育委員会
■渋川小学校エコスクール支援委員会司会/10月21日 草津市立渋川小学校/多目的室

深尾　秀一　■グループ日和　顧問　在住外国人児童への教育支援/2020年度/日和

松村　都子　■守山市発達支援に係る訪問相談員/2020年度/守山市

若生　眞理子　■日本国際秘書学会選挙管理委員長/2019年9月～2021年8月/日本国際秘書学会

### 2)講演

伊澤　亮介　■開館40周年記念無形文化遺産理解事業(2020)アジアの伝統演劇「ベトナムの伝統芸能―チェオ・トゥオンを中心に―」/11月22日/堺市博物館

保田　恵莉　■令和2年度宍粟市こども園人権教育研究会研究会指導・講演/11月10日/宍粟市立戸原こども園・宍粟市教育委員会
■保護者対象「子育て支援研修会」・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会子育て支援コーディネーター・豊岡市文化協会所属こどものアトリエ理事長/12月6日,13日/NPO法人子育てひろば全国連絡協議会・豊岡市文化協会所属子育て支援室「こどものアトリエ」

### 3)講座

石井　明　■「ものづくりの魅力」講座(洋菓子)栗東市立大宝西小学校/出前授業/11月10日/滋賀県職業能力開発協会
■「ものづくりの魅力」講座(洋菓子)甲賀市立多羅尾小学校/出前講座/12月22日/滋賀県職業能力開発協会

岡田　香織、灰藤　友理子、中平　真由巳　■すみれが一でん。月1回10時のおやつ提供/6～2月/附属すみれ保育園
■すみれ保育園における食育活動　園児と共に調理や試食/5月,9月,1月,2月/附属すみれ保育園

岡田　香織、中平　真由巳　■総合的な学習の時間「アメノイオご飯」についての学習/7月21日/草津市立渋川小学校
■「琵琶湖元気アスパラ」についての学習/8月4日/草津市立渋川小学校

笹倉　千佳弘　■「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログ20　講師「社会的ハイリスク妊産婦と彼女から生まれた子どもへの支援」/12月25日/岡山大学大学院保健学研究科

中平　真由巳　■(共)ラムサールびわっこ大使「ふなずし漬け」/8月8日/琵琶湖博物館実習室

原　知子　■滋賀大学令和2年度教員免許状更新講習　講師　乳幼児における食育/8～3月/滋賀大学
■滋賀県家庭的保育者基礎研修　講師　子どもの食と栄養/9月27日/滋賀県保育協議会
■保育士キャリアアップ研修　講師　食育計画/10月4日/滋賀県保育協議会
■滋賀県子育て支援員研修　講師/11月30日, 12月11日 滋賀県保育協議会　公益財団法人　総合健康推進財団
■守山市家庭的保育基礎研修・子育て支援員研修講師/11月29日, 1月23日/守山市・すみれ保育園

深尾　秀一　■教員免許更新講習　講師/8～3月/滋賀大学

松村　都子　■滋賀県幼稚園・認定こども園等新規採用教員研修講師 造形表現「版で遊ぼう」講義演習/9月8日, 9日/滋賀県教育委員会(総合教育センター)
■滋賀県幼稚園・認定こども園等中堅教諭等資質向上研修　講師 「学びの基礎を育む教育および保育をめざして」講義演習/12月3日/滋賀県教育委員会(総合教育センター)
■守山市立玉津こども園園内研究会　講師/10月/守山市立玉津こども園
■守山市立吉身幼稚園園内研究会　講師/11月/守山市立吉身幼稚園
■愛壮町立保幼主任部会研修会　講師/8月/愛壮町
■豊郷町立愛里保育園絵画研修会　講師/10月/豊郷町立愛里保育園

三上　佳子　■守山市中洲こども園研究会　講師/7月/守山市中洲こども園
■滋賀短期大学附属幼稚園研究会　講師/8月/滋賀短期大学附属幼稚園
■2.3年次学びのチャレンジ研修の講師/11月/大津市教育委員会
■保育主任会研究会・地域連携講座の講師/11月/大津市保育主任会地域連携講座
■大津市立幼稚園表現部会の講師/1月/教育研究所　表現部会
■幼児教育研修会・地域連携講座/1月/守山市教育委員会・地域連携講座
■守山市立速野幼稚園研究会　講師/1月/守山市立速野幼稚園
■滋賀短期大学附属すみれ保育園研究会　講師/2月/滋賀短期大学附属すみれ保育園

山岡　ひとみ　■保育所調理員研修「給食時の事故防止に向けた取り組み」/10月21日/滋賀県保育協議会
■日野菜漬け指導/12月14日/渋川小学校

柚木　たまみ　■湖南市保育園等職員研修　講師/2月24日/湖南市
■大東市立小学校特別支援学級在籍児童に対する音楽療法/2020年度/大東市教育委員会

### 4)ラジオ出演

中平　真由巳　■近江美味しもの ―冬瓜のアジアンサラダ―/9月14日 KBS京都放送ラジオ放送　「さらピン!京都」

### 5)連携活動

石井　明　■ヘキセンハウス作成展示/11～12月/ベーカリー塾・大津プリンスホテル

山岡　ひとみ、岡田　香織　■近鉄リテーリングとメニューコンテストレシピ集作成/2月9日/近鉄リテーリング

# 保健室だより

## 悩みごと、一人で抱え込まないで!

学務課（保健室）　鈴木　万里絵

長期間の新型コロナウイルス感染症の流行により、様々なイベントや行事の中止が相次ぎ、休日は自宅で過ごされる方も多いのではないでしょうか。特に下宿中の方は誰にも相談できず、悩みごとを抱え込んだりしていないでしょうか。感染症の流行によりストレスを感じることは当然の反応ですが、蓄積されると、以下のような症状が出てくることがあります。

**【身体面】**

- だるさ・身体虚弱　● 吐き気・嘔吐
- 胸部の痛み、動悸　● めまい　● 筋肉のふるえ
- 呼吸困難　● のどが渇きやすい　● 頭痛　● 視力障害
- 歯ぎしり　● 睡眠障害　● 食欲低下　● 便秘・下痢
- 異常な発熱　● 肩こりなど

**【精神面】**

- 不安　● イライラ感　● 感情鈍麻　● 集中力の低下
- 判断・決断力の低下　● 注意力の低下
- 思考が乱れ、混乱する　● 問題解決能力の低下など

| 学内学生相談室の利用方法 | |
|---|---|
| 予約窓口 | 学務課または保健室に来室または電話、メール |
| カウンセラー在席日時 | 水曜：10時～16時、金曜：11時～17時 |
| メールアドレス | soudan@sumire.ac.jp |
| 電話番号（学務課） | 077-524-9077 |

| 滋賀県新型コロナ感染症による心の相談窓口 | |
|---|---|
| 生活にお困りの方<br>（各種支援策相談窓口） | 077-525-5670 |
| 滋賀いのちの電話 | 077-553-7387 |

参考：第2章 心のケア 各論：文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/010/003.htm

上記のような症状が出るまで放置せず、ぜひ相談室を利用しましょう。保健室や学務課の学生支援コーディネーターに相談することも可能ですが、上記の曜日でカウンセラーにも相談できます。

心と体は繋がっています。悩み事は放置せず、専門家に聞いてもらい、心身共に健康で過ごすことが学生生活において不可欠です。学業に関すること以外でも、友人、恋愛、アルバイト先でのことなど、色々なことが相談できます。相談したことがなくて不安な方も、気軽に利用してみてください。誰かに自分の話を聞いてもらうこと、自分の心を整理することはとても大切です。また、あなたのプライバシーは必ず守られますのでご安心ください。

# 図書館だより

本学図書館では、学生の皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。Word・Excelでのレポート作成や必要資料を収集するお手伝い（参考調査）もします。もちろん、授業の合間に図書を読んだり、インターネットなどを利用したり、といった娯楽活動にも是非ご活用ください。
わからないことがあれば、カウンタースタッフまでお尋ねください。

また、本学図書館は卒業生や一般の方もご利用できます！（※）

話題の文芸書から郷土資料、保育教育書、料理本、ビジネス専門誌、絵本など約8万5千冊の本を備えています。

所蔵資料については本学図書館HPのOAPC（蔵書検索）からご確認いただけます。

**〈利用案内〉**

開館時間：平日　8：30～18：00、長期休暇中　9：00～13：00
　　原則　土曜日、日曜日、祝日は休館
貸出期間：学　生　15冊（2週間以内）
　　卒業生　10冊（1ヵ月以内）
　　一　般　5冊（2週間以内）
返却については期日までに図書館カウンターまでお願いします。
閉館時は図書館入口前の返却ポストをご利用ください。

**〈一般・卒業生ご来館時のお願いと図書館利用方法〉**

1. 正門玄関にて受付を行い、入構証を受け取ってからご来館ください。
2. 図書館のカウンターにて、利用申込書にご記入をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、現在は卒業生・一般の来館を制限させて頂いております。
再開する際には本学図書館HPにてご案内させて頂きます。

滋賀短期大学では10月31日まで
高校生を対象とした手作り絵本コンクールの
参加を受け付けています。
詳細はHPをご覧ください。

# 学校法人純美禮学園の令和2年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和2年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたので報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

## 令和２年度決算報告について

### 事業活動収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで　（単位千円）

| | | 科目 | 決算 |
|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 1,083,747 |
| | | 手数料 | 32,909 |
| | | 寄附金 | 26,787 |
| | | 経常費等補助金 | 559,182 |
| | | 付随事業収入 | 13,885 |
| | | 雑収入 | 100,746 |
| | | 教育活動収入計 | 1,817,256 |
| | 事業活動支出の部 | 科目 | 決算 |
| | | 人件費 | 1,214,229 |
| | | 内：退職給与引当 | 16,382 |
| | | 教育研究経費 | 465,257 |
| | | 内：減価償却 | 172,153 |
| | | 管理経費 | 134,743 |
| | | 内：減価償却 | 16,449 |
| | | 徴収不能額等 | 1,530 |
| | | 教育活動支出計 | 1,815,759 |
| | | 教育活動収支差額 | 1,497 |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 科目 | 決算 |
| | | 受取利息・配当金 | 34,023 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 |
| | | 教育活動外収入計 | 34,023 |
| | 事業活動支出の部 | 科目 | 決算 |
| | | 借入金等利息 | 4,505 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 4,505 |
| | | 教育活動外収支差額 | 29,518 |
| | | 経常収支差額 | 31,015 |
| 特別収支 | 収入の部 | 科目 | 決算 |
| | | 資産売却差額 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 29,735 |
| | | 特別収入計 | 29,735 |
| | 支出の部 | 科目 | 決算 |
| | | 資産処分差額 | 6,934 |
| | | その他の特別支出 | 16,300 |
| | | 特別支出計 | 23,234 |
| | | 特別収支差額 | 6,501 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 37,516 |
| 基本金組入額合計 | | | △ 99,820 |
| 当年度収支差額 | | | △ 62,304 |
| 前年度繰越収支差額 | | | △ 1,649,976 |
| 基本金取崩額 | | | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | | | △ 1,712,280 |

（参考）

| | |
|---|---|
| 事業活動収入計 | 1,881,014 |
| 事業活動支出計 | 1,843,498 |

### 貸借対照表

令和3年3月31日　（単位千円）

| | 科目 | 本年度末 |
|---|---|---|
| 資産の部 | 固定資産 | （ 5,617,341 ） |
| | 有形固定資産 | 4,172,210 |
| | 土地 | 369,348 |
| | 建物 | 2,826,860 |
| | 構築物 | 287,310 |
| | 教育研究用機器備品 | 361,696 |
| | 管理用機器備品 | 44,719 |
| | 図書 | 276,099 |
| | 車両 | 6,178 |
| | 特定資産 | 1,442,416 |
| | 第3号基本金引当特定資産 | 372,595 |
| | 退職給与引当特定資産 | 115,073 |
| | 減価償却引当特定資産 | 920,000 |
| | 住宅貸付引当特定資産 | 34,748 |
| | その他の固定資産 | 2,715 |
| | 施設利用権 | 1,968 |
| | 電話加入権 | 647 |
| | 保証金 | 100 |
| | 流動資産 | （ 696,680 ） |
| | 現金預金 | 541,787 |
| | 未収入金 | 151,979 |
| | 貯蔵品 | 158 |
| | 前払金 | 2,756 |
| | 資産の部合計 | 6,314,021 |
| 負債の部 | 固定負債 | （ 1,018,731 ） |
| | 長期借入金 | 733,280 |
| | 退職給与引当金 | 285,451 |
| | 流動負債 | （ 407,125 ） |
| | 短期借入金 | 33,330 |
| | 未払金 | 78,316 |
| | 前受金 | 256,562 |
| | 預り金 | 38,917 |
| | 負債の部合計 | 1,425,856 |
| 純資産の部 | 基本金 | （ 6,600,445 ） |
| | 第1号基本金 | 6,112,850 |
| | 第3号基本金 | 372,595 |
| | 第4号基本金 | 115,000 |
| | 繰越収支差額 | （ △1,712,280 ） |
| | 翌年度繰越収支差額 | △1,712,280 |
| | 純資産の部合計 | 4,888,165 |
| | 負債及び純資産の部合計 | 6,314,021 |

## 人事異動　（　）前職位

### 退　職

（令和3年3月31日付）

| | | |
|---|---|---|
| 生活学科 | 特任助手 | 岡田　香織 |
| 幼児教育保育学科 | 特任教授 | 林　　幸範 |
| | 准教授 | 松木　宏史 |
| | 講師 | 浜崎　由紀 |
| ビジネスコミュニケーション学科 | 特任教授 | 堀池喜八郎 |
| キャリア支援課 | 嘱託職員 | 岡田　英也 |
| 総務課 | 嘱託職員 | 吉野みずほ |

### 採　用

（令和3年4月1日付）

| | | |
|---|---|---|
| 生活学科 | 特任助手 | 野畑　公美 |
| 幼児教育保育学科 | 特任教授 | 保田　恵莉 |
| ビジネスコミュニケーション学科 | 教　授 | 田中　裕之 |
| | 特任助教 | 清水　美里 |
| キャリア支援課 | キャリア支援室長 | 藤支　良明 |
| 学務課 | 嘱託職員 | 岡田　郁代 |
| 総務課 | 嘱託職員 | 髙口　　綾 |

### 昇　任

| | | |
|---|---|---|
| ビジネスコミュニケーション学科 | 教授 | 江見　和明（准教授） |
| 幼児教育保育学科 | 准教授 | 松井　典子（講師） |

### 異　動

| | | |
|---|---|---|
| 事務局 | 次長（兼）総務課長 | 中野　英樹（附属高等学校事務部長） |
| キャリア支援課 | 課長 | 吉田　英史（総務課課長） |
| 学務課 | 課長補佐（兼）法人本部 | 小杉ゆう子（法人本部人事・経理業務改革室長） |
| 総務課 | 主任 | 松岡　佑樹（学務課主任） |
| 学務課 | 主事 | 市原　淳美（入試広報課主事） |
| 入試広報課 | 係長 | 中塚　　豊（学務課係長） |
| 附属高等学校 | 事務部長 | 大伴　嘉彦（キャリア支援課長） |

## 滋賀短期大学創立５０周年事業記念募金終了のお知らせ

令和元年12月1日から令和3年3月31日の間に、「滋賀短期大学創立50周年事業記念募金」として総額18,187,000円のご寄付を賜りました。本学ホームページにご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。
https://www.sumire.ac.jp/tandai/50th/

※50周年記念事業として全館Wi-Fiを整備しました。全館（体育館を含む）で学生用Wi-Fiを整備。Allied　Telesis社製アクセスポイント44台を設置し、学生必携パソコンとあいまってICT利用の授業環境を整えました。

創立50周年記念事業募金「全館Wi-Fi」
同窓会・後援会寄付　令和3年3月

## 令和２年度卒業生から記念品を寄贈いただきました

卒業記念品として「LED大学名サイン」を寄贈していただきました。3号館東面に設置しました。遠く近江大橋からも見えるとか、見えないとか。

3号館外壁LED大学名サイン
令和2年度卒業生寄贈　令和3年3月

## 滋賀短期大学 教育研究充実基金の募集について

【寄付の目的】　滋賀短期大学の教育研究の充実を図る基金を蓄積するため寄付金を募集させていただき、目標額達成の後、その基金の運用により教育振興に役立たせていただきたく存じます。

【募集期間】　平成15年4月から令和5年3月まで

【募集目標金額】　50,000,000円

【募集一口金額】　個人・法人・・・10,000円

【申し込み方法】下記事務局にお電話またはメールでご連絡ください。専用振込用紙をお送りします。
電話番号：077-524-3605　E-MAIL：soumu@sumire.ac.jp
滋賀短期大学　事務局（総務課）

**今年度から学報が年1回発行になります。最新の学校情報や行事、ニュースはHPからご覧ください。**